

りんご輸出チャレンジャー情報 氏名 森山聡彦

プロフィール

森山聡彦（もりやまとしひこ）43歳。

青森りんご発祥の地、弘前市樹木で、明治中期より先祖代々、8.7haのりんご畑を経営して参りました。標準の6倍もの面積を家族で経営してきた経験を活かし、担い手不足の問題を農家目線で解決法を研究して参りました。それらを実行するため、2015年2月17日、もりやま園株式会社を設立しました。

経営の特徴

園内のりんごの樹にはツリータグという標識（実用新案登録済）を設置し、栽培管理の徹底を図っています。

環境保全型農業に取り組んでいて、従来の農薬だけに頼らずに、天敵の保護、病害虫の住みにくい環境づくりに努め、減農薬と病害虫の防除とを両立しています。（青森県特別栽培農産物認証園：節減対象農薬5割減、化学肥料不使用）

輸出の取り組みの抱負

青森県のりんごの魅力をもっと掘り下げ、世界中の人々に評価していただけるよう、努力して参ります。

現在の作業状況

早生種の未希ライフやつがるの収穫が終わり、主力品種のふじの着色管理で大忙しです。

今年のリんごの作柄

今年は生育が早く、着色も良好です。出荷した早生種の評判も上々で、インターネット販売のお客様からは「完璧」「素晴らしい！」などと、嬉しい声をいただいています。中生種、晩生種もかなり期待できます。